

その一言とその選定が利用者の「できる」を引き出す

第2回 あいち福祉用具 ケア研修会

参加費無料

※要事前申込



開催日時

2025年11月29日 土

会場

Station Ai
1Fイベントスペース

〒466-0064

愛知県名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号
JR中央本線「鶴舞駅」徒歩6分



二井 俊行

公益社団法人愛知県理学療法士会
介護保険業務部長

福祉用具の活用は、介護の現場を大きく変える力をもっています。

本研修では、介護支援相談員・セラピスト・福祉用具専門相談員の3職種が一緒に現場を見ることで、適切な選定と活用の実践力を高めていきます。体験・体感を通じて、それぞれの視点の違いや強みを知り、「本当にその人に合った福祉用具とは何か」を深く考える機会にいただけると嬉しく思います。

プログラム

講演①

10:00
～11:00

動作の視点で見直す「その人らしい生活」
～福祉用具が支える自立支援の実践～

二井 俊行

愛知厚生連 海南病院
リハビリテーション科

展示・体験

11:00
～12:00

動作と生活の視点から伝える“実感できる福祉用具活用”
～体験・体感で学ぶ、自立支援の実際～

講演②

13:00
～14:00

現場の変化は、気づきから始まる。
～「福祉用具×多職種連携」が広げる
自立の可能性～

藤田 正之

西尾市
地域包括支援センター長

展示・体験

14:00
～15:30

多職種で一緒に考えよう
利用者にあった福祉用具ケア体験・体感会

講演③

15:30
～16:00

全体討論

※13:00～16:00 本研修は主任介護支援専門員更新研修受講要件 個別要件②に該当する研修です

お申込み方法

お申込みは、下記二次元コードよりお願いいたします ※申込締切：2025年11月24日(月祝)

理学療法士・作業療法士・
言語聴覚士の方はこちら⇒
(定員50名・先着順)

※申込締切後、参加方法等の案内メールをお送りいたします



その他の職種の方はこちら⇒
医師・看護師・介護職・介護支援専門員
福祉用具専門相談員等 (定員50名・先着順)



主催：公益社団法人愛知県理学療法士会
(問合せ先> info@pt-aichi.jp)

共催：一般社団法人日本福祉用具供給協会 愛知県ブロック
後援：一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会

第2回 あいち福祉用具ケア研修会

展示・体験ブースのご紹介



第1部

11:00～12:00

動作と生活の視点から伝える“実感できる福祉用具活用”
～体験・体感で学ぶ、自立支援の実際～

第2部

14:00～15:30

多職種で一緒に考えよう
利用者に合った福祉用具ケア体験・体感会

展示ブース① 排泄ゾーン

排泄は日常生活の基本であり、尊厳にも関わる大切な行為です。このゾーンでは、自立支援と介護負担の軽減を両立するための福祉用具を紹介します。

機器展示

リフト、スタンディングリフト、ポータブルトイレ

展示ブース② 食事ゾーン

「食べること」は、生きる喜びであり、日常生活の質を大きく左右します。このゾーンでは、車いすを使用する方が安心して食事を楽しめる環境づくりに焦点を当て、以下のような福祉用具を展示しています。

機器展示

車いす各種、車いす用クッション

展示ブース③ 褥瘡ゾーン

褥瘡は、適切な体圧分散とポジショニングによって予防・改善が可能です。このゾーンでは、寝たきりや長時間同じ姿勢で過ごす方への支援を目的とした福祉用具を展示しています。

機器展示

ポジショニングピロー、ベッド

展示ブース④ 歩行器・手すりゾーン

「安心して歩く」「自分の足で移動する」ことは、生活の自立につながります。このゾーンでは、歩行の安定性を高める用具や、住環境での転倒予防を支える手すり類を展示しています。

機器展示

手すり、歩行器